

## 小野田支部事業報告

支部長 土井直子

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価の今後の課題	新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたが、感染対策は引き続き必要であり、対面で実施する「まちの保健室」の再開回数について検討中である。「健康フェスタ」参加は、展示ブースの設置と委員の参加による対面形式で実施することで、今後の「まちの保健室」の内容について課題が見つかった。今年度も教育研修会は、オンライン研修を実施した。対面での研修は、研修場所・日時も含め検討していきたい。「看護の日」は工夫し実施できている施設もある。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 1回(教育委員会) R6.2.15(木) 17:30~18:30 「がん化学療法における皮膚障害について」 講師 がん化学療法認定看護師 竹内織恵氏 *大塚製薬共催 情報提供15分「がん化学療法時の栄養管理について」 出席者115人 アンケート結果 (総合評価) 研修内容 よかった:84% 回答
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職の健康増進促進事業 R5.11.19(日)「SOS健康フェスタ」展示ブース設置 血圧測定・体脂肪測定・健康相談・AGES測定の実施 職能委員メンバー7人参加(かんごちゃんポロシャツ着用) (活動報告)測定・相談件数111人 10代:1 20代:1 30代:8 40代:12 50代:19 60代:33 70代:30 80代以上:21
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」行事:各施設で「花の種」の配布、展示ブースの設置を実施 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事:中止 3)「まちの保健室」 4)山陽小野田市「第14回SOS健康フェスタ」展示ブースと参加 展示ブース、がん予防啓発・健診参加パンフレットの配布 5)看護体験実施:実施可能な施設で実施 6)在宅療養支援に係る看護職の連携推進強化事業(宇部支部と合同) (1)検討会 3回 R5.6.16 R5.9.15 R6.2.9 (2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 R5.8.1 17:30~17:50 「在宅医療の実際と在宅・医療連携強化について」 ここまでは出来る在宅医療(そこからは入院で) 講師 波乗りクリニック 小早川節氏
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R5.7.22(土) 「高齢者の熱中症救急搬送数ゼロを目指して」 ～知っておきたい経口補水療法の有用性～ 講師 株式会社 大塚製薬 利根義人氏 出席者 13人 2)支部役員会 4回 R5.6.14 8.23 12.13 R6.2.7 3)支部委員会 (1)教育委員会 4回 R5.6.14 8.23 11.8 R6.2.7 (2)職能委員会 4回 R5.6.14 8.23 11.8 R6.2.7 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 4)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(Web会議・書面会議含む) ①山陽小野田市健康づくり推進協議会 1回 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 3回 ③山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 3回 ④山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 3回 ⑤山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携広報部会 4回 ⑥宇部小野田保健医療圏会議 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿